

【取組状況】

お客さま本位の実践に向けた取組状況は以下のとおりです。

◆お客さまのニーズにお応えする商品ラインアップの整備

- 多様化するお客さまのニーズに的確にお応えできるよう、商品ラインアップを適宜見直してまいります。

【図1】商品ラインアップ（2019年3月末）

- 投資信託ラインアップ
- 保険商品ラインアップ

商品カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	3	4.4%
国内株式	10	14.7%
海外債券	15	22.1%
先進国	9	13.2%
ハイ・リターン	4	5.9%
新興国	2	2.9%
海外株式	21	30.9%
先進国	18	26.5%
新興国	3	4.4%
REIT	5	7.4%
バランス型	14	20.6%
その他	0	0.0%
合計	68	100.0%

商品カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
円建	9	37.5%
変額個人年金	0	-
定額個人年金	0	-
終身保険	9	37.5%
医療・がん保険	0	-
外貨建	15	62.5%
変額個人年金	4	16.7%
定額個人年金	2	8.3%
終身保険	9	37.5%
合計	24	100.0%
うち手数料開示商品	19	-

商品カテゴリ	取扱商品数	取扱商品比率
個人年金保険	3	10.0%
終身保険	2	6.7%
医療・がん保険	13	43.3%
学資保険	1	3.3%
介護・収入保障	3	10.0%
就業不能保険	2	6.7%
定期保険	6	20.0%
合計	30	100.0%
うち手数料開示商品	2	-

◆お客さまへのコンサルティングを通じた商品のご提案

- お客さまのニーズにお応えできる多様な商品をラインアップするとともに、的確な情報提供に努めております。
- 投資信託は、相場環境や複利効果の有効性について丁寧な説明を行うことにより、毎月分配型商品の販売比率が低下しております。
- 保険は、円建て保険の低金利状況が継続する中、外貨建て保険を中心に販売しております。引き続き、多様なお客さまのニーズにお応えできる最適な商品の提供に努めてまいります。

【図2】年度別販売上位10銘柄（投資信託）

2017年度				
	投信会社名	商品名	毎月分配	販売比率
1	日興アセットマネジメント	グローバル・レティクス株式ファンド（年2回）		16.8%
2	アセットマネジメント One	新光グローバル債券ファンド	○	10.2%
3	アセットマネジメント One	MHAM新興成長株オープン（J-70タイプ）		8.5%
4	リッジ・メイプル・アセットマネジメント	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月）	○	8.1%
5	フィデリティ投信	フィデリティ・USM・イールド・ファンド	○	8.0%
6	三井住友アセットマネジメント	インド債券ファンド（毎月）	○	5.7%
7	ゴールドマン・サックス・アセットマネジメント	GSグローバルビグデータ投資戦略ボース		5.1%
8	JPモルガン・アセットマネジメント	JPMグローバル高利回りCBファンド 2017-08		4.0%
9	アセットマネジメント One	新光US-REITオープン（ゼロ元）	○	2.5%
10	アセットマネジメント One	ワールドイン万好配当株式ファンド（世界のかけ橋）	○	2.3%

2018年度				
	投信会社名	商品名	毎月分配	販売比率
	アセットマネジメント One	MHAM新興成長株オープン（J-70タイプ）		20.5%
	リッジ・メイプル・アセットマネジメント	LM・オーストラリア高配当株ファンド（毎月）	○	8.5%
	アセットマネジメント One	世界eコマース関連株オープン（みらい生活）		7.7%
	日興アセットマネジメント	グローバル・レティクス株式ファンド（年2回）		3.9%
	大和投信	グローバル株式リテラシーファンド（3カ月）		3.8%
	三菱UFJ国際投信	次世代米国代表株ファンド（リターンリーダー）		3.6%
	日興アセットマネジメント	グローバル・レティクス・サービス株式ファンド（年1回）（グローバルMaaS）		3.3%
	三菱UFJ国際投信	インド株式ファンド 225		3.2%
	アセットマネジメント One	おおさか・かんさいアクティブファンド（20（25）ットとおさか）		3.0%
	三井住友DSアセット	インド債券ファンド	○	2.8%

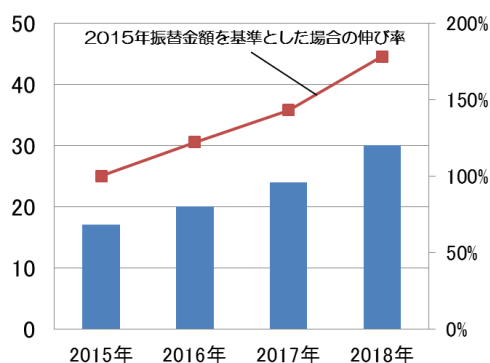
【図3】 年度別販売上位 10 銘柄（保険）

2017年度					2018年度				
	保険会社名	商品名	種類	販売比率	保険会社名	商品名	種類	販売比率	
1	日本生命	デュアルドリーム	変額年金	19.3%	日本生命	ロングドリームGOLD/ロングドリームGOLD2	終身	21.8%	
2	T&Dファイナル生命	生涯プレミアムワールド 3/ 生涯プレミアムワールド 4	終身	19.2%	第一フロンティア生命	プレミアプレゼント	終身	19.7%	
3	三井住友海上プライマリ生命	たのしみ、ずっと	終身	14.5%	三井住友海上プライマリ生命	たのしみ、ずっと	終身	16.5%	
4	メットライフ生命	ビーウィズユープラス	終身	12.0%	三井住友海上プライマリ生命	しあわせ、ずっと	終身	12.1%	
5	三井住友海上プライマリ生命	しあわせ、ずっと	終身	10.5%	メットライフ生命	ビーウィズユープラス	終身	10.1%	
6	三井住友海上プライマリ生命	しあわせ、ずっとNZ	終身	6.0%	三井住友海上プライマリ生命	あしたの、よろこび	定額年金	4.2%	
7	明治安田生命	外貨建・エブリバディプラス	終身	4.7%	T&Dファイナル生命	生涯プレミアムワールド4	終身	3.6%	
8	第一フロンティア生命	プレミアプレゼント	終身	2.9%	第一フロンティア生命	プレミアカレンシープラス2	定額年金	2.4%	
9	日本生命	ロングドリームGOLD	終身	2.8%	住友生命	ふるはーとJロードグローバル	終身	2.0%	
10	三井住友海上プライマリ生命	やさしさ、つなぐ	終身	1.9%	三井住友海上プライマリ生命	やさしさ、つなぐ	終身	1.5%	

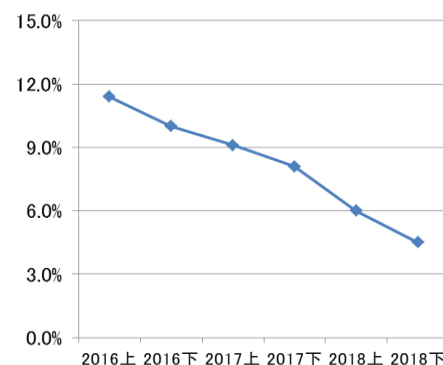
◆お客さまへのコンサルティングを通じた商品のご提案

- お客さまの安定的な資産形成に有効な、天引投信積立の振替金額は着実に増加しております。
- 投信残高全体に占める毎月分配型商品の構成比率低下や一部商品の分配金額引き下げにより、投信残高に対する分配金の割合は引き続き減少しております。
- 投資信託の平均保有期間は、コアファンドの残高増加により、長期化しております。

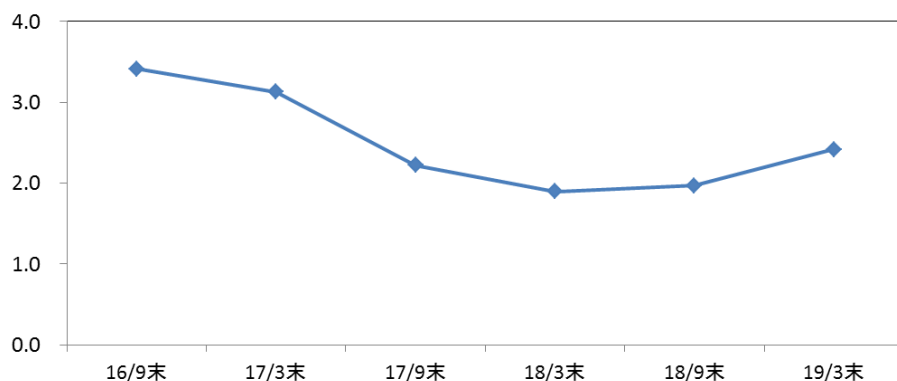
【図4】 天引投信積立振替金額（億円）



【図5】 投資信託の残高に対する分配金の割合



【図6】 投資信託の平均保有期間（年）



※平均保有期間は投信平均保有残高を解約・償還額の累計で除したもの

◆お客さまの投資判断に必要な情報提供の充実

金融や投資に関するお客さま向けセミナーの開催やアフターフォローにより、市場動向やお客さまの運用状況をお伝えするなど、お客さまに必要な情報提供の充実に努めております。

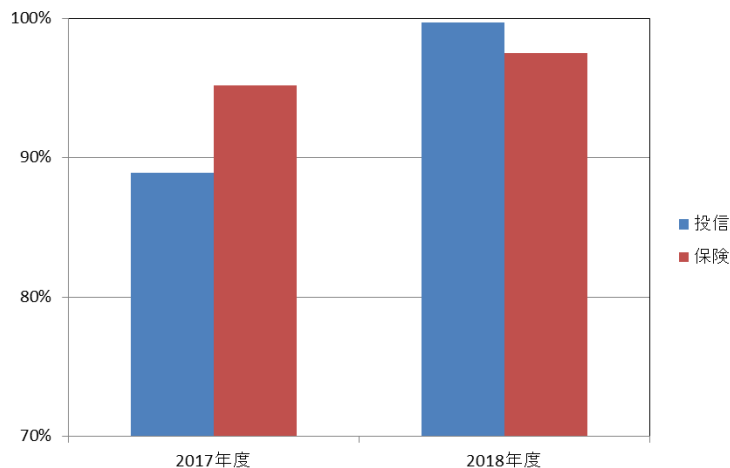
【図7】2017年度 本部主催
大規模資産運用セミナー実施状況

セミナー名	開催月	内容	主な対象のお客さま	参加人数
ゼウス運用報告セミナー	7月	新光US-REIT（ゼウス）の運用状況	投資経験者	116人
大人のための夏期講習	8月	世界経済・為替動向等の見通し	投資初心者 投資経験者	283人
上手なお金の働かせ方講座	11月	資産運用の必要性 マーケットの基礎知識	投資初心者 投資未経験者	197人
大人のための冬期講習	1月	資産運用の必要性 マーケットの基礎知識	投資初心者 投資経験者	347人

【図8】2018年度 本部主催
大規模資産運用セミナー実施状況

セミナー名	開催月	内容	主な対象のお客さま	参加人数
投資の夏！サマーマーケット講座（2回開催）	8月	世界経済の見通し「人生100年時代」を見据えた資産運用	投資初心者 投資経験者	2回合計 164名
資産運用フェア2018	12月	マーケットの基礎知識 資産運用の必要性 （6種類のテーマを用意し、お客さまにどのセミナーに参加するか選択）	投資初心者 投資未経験者	68名

【図9】アフターフォローの実施状況



※一定の条件のもと、1回/1年以上のアフターフォローを実施

◆お客さま第一主義の態勢整備

- ・金融商品のコンサルティング能力向上のために、資格取得の奨励に努めております。

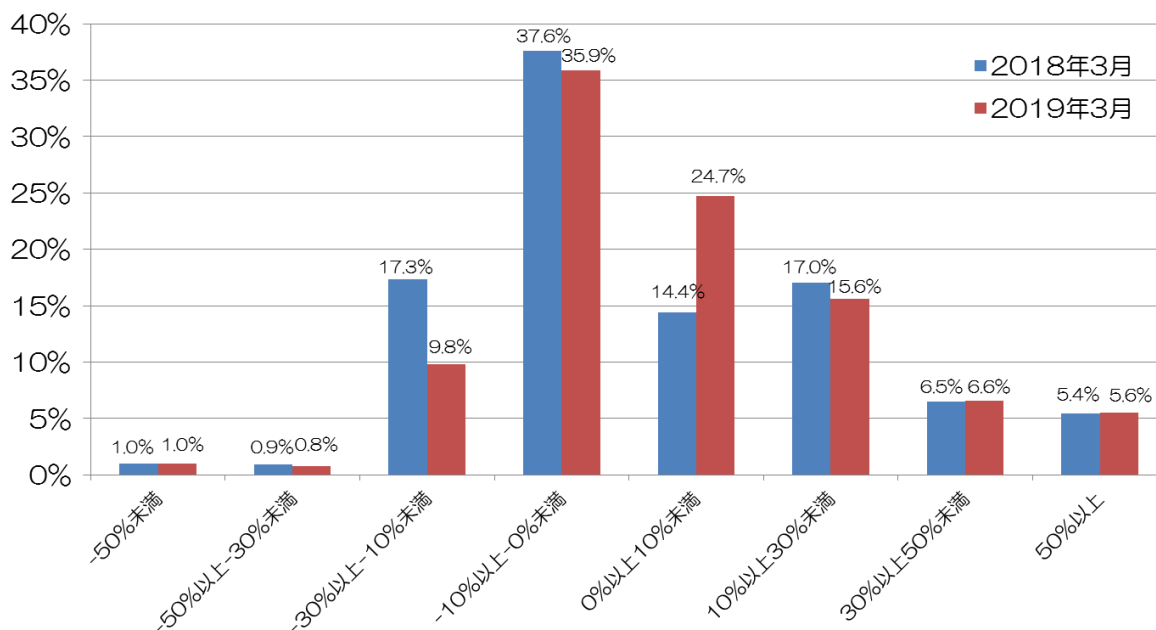
【図10】各種資格の保有者数

資格名	2018/3	2019/3
AFP	146	150
CFP	28	28
証券アナリスト	38	38
シニアPB	6	6
FP2級	1,224	1,244
FP1級	33	37

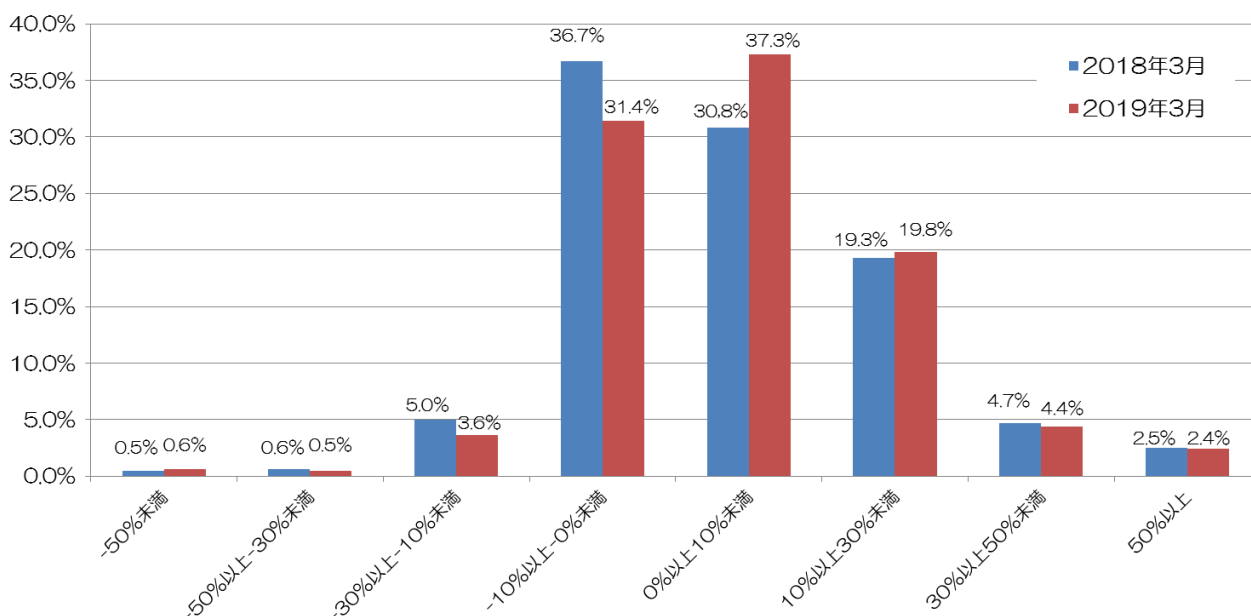
◆お客さまの運用成果に関する指標

- 2019年3月末時点で投資信託を保有されているお客さまの運用損益別顧客比率【図11】において、運用益を得ているお客さまは52.5%（47.5%のお客さまが運用損失）でした。一方、過去に売却した投資信託の運用損益を加味した運用損益別顧客比率【図12】では、63.9%のお客さまが運用益を得ています。
- 投資信託の預り残高上位20銘柄【図17】の平均コストは2.08%（前年：2.05%）、平均リスクは12.55%（同12.09%）に対し、平均リターンは6.84（同：5.82%）でした。今後も運用実績の優れたファンドをラインアップして参ります。（【図15】【図16】）

【図11】 投資信託の運用損益別顧客比率[共通 KPI]



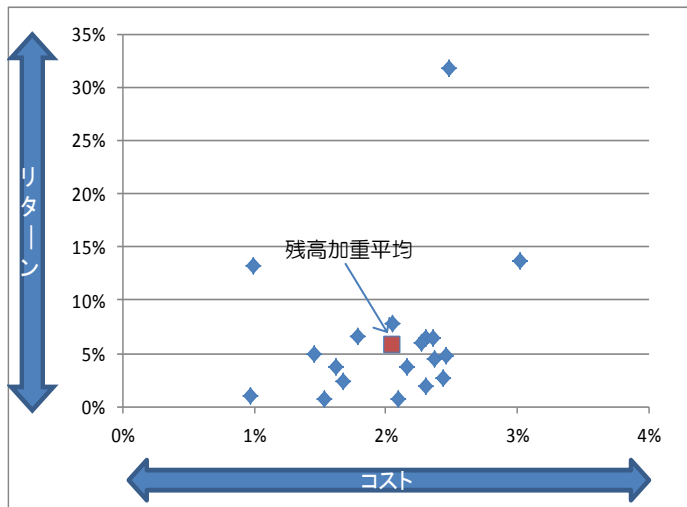
【図12】 実現損益を含む運用損益別顧客比率



【図11】 【図12】 2019年3月末時点。運用損益別顧客比率計算上の分母は【図11】時価評価額、【図12】累積買付額

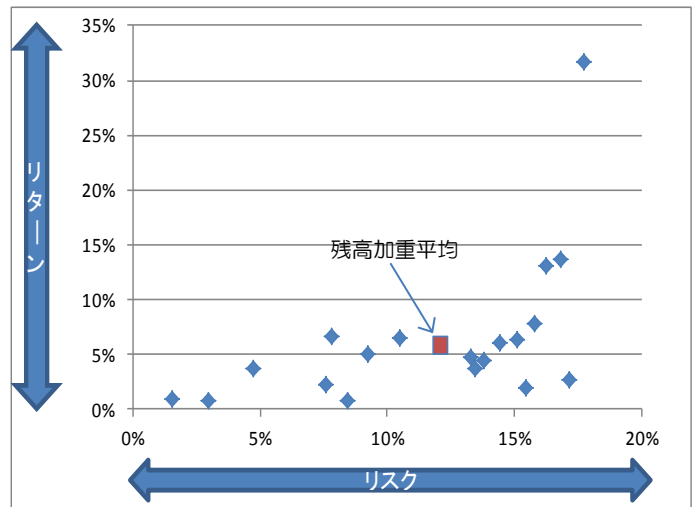
【図12】 2014年12月以降に売却・償還となった投資信託の実現損益が対象

【図 13】 2018 年 3 月末投資信託預り残高上位 20 銘柄の
コスト・リターン[共通 KPI]



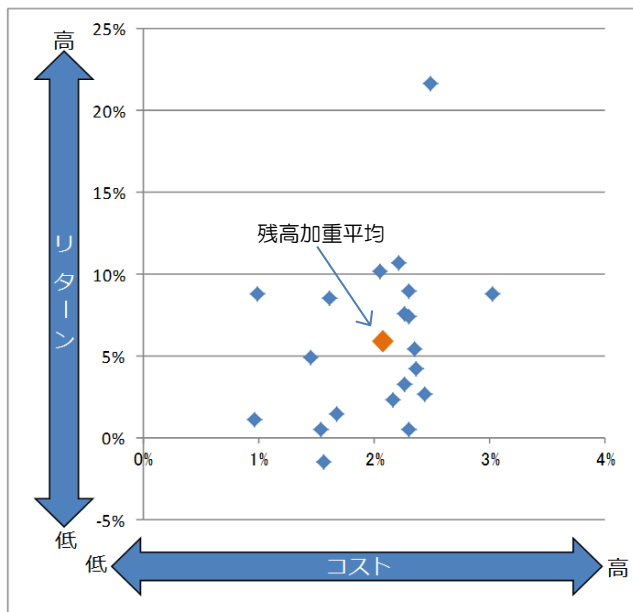
残高加重平均	コスト	リターン
	2.05%	5.82%

【図 14】 2018 年 3 月末投資信託預り残高上位 20 銘柄の
リスク・リターン



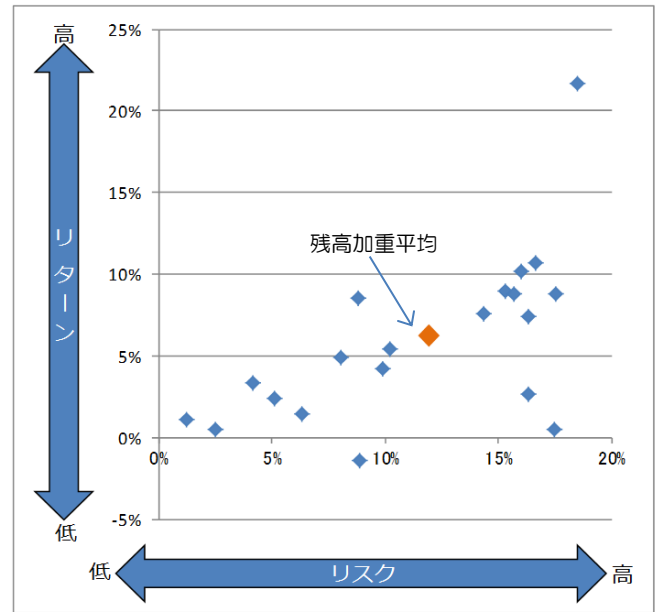
残高加重平均	リスク	リターン
	12.09%	5.82%

【図 15】 2019 年 3 月末投資信託預り残高上位 20 銘柄の
コスト・リターン[共通 KPI]



残高加重平均値	コスト	リターン
	2.08	6.84

【図 16】 2019 年 3 月末投資信託預り残高上位 20 銘柄の
リスク・リターン[共通 KPI]



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.55	6.84

【図17】投資信託預り残高上位20銘柄

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	新光US-REITオープン(ゼウス)	2.30%	15.30%	8.98%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	2.35%	10.23%	5.44%
3	MHAM新興成長株オープン(J-フロンティア)	2.48%	18.46%	21.68%
4	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.44%	16.35%	2.69%
5	新光ブラジル債券ファンド	2.30%	17.44%	0.53%
6	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	2.27%	14.34%	7.57%
7	三菱UFJ豪ドル債券インカムオープン(夢実月)	1.57%	8.87%	-1.41%
8	インド債券ファンド(毎月分配型)	2.37%	9.88%	4.27%
9	インデックスファンド225	0.99%	15.71%	8.80%
10	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型(財産3分法)	1.46%	8.05%	4.90%
11	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	0.97%	1.25%	1.11%
12	フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	2.05%	16.02%	10.18%
13	MHAMJ-REITアクティブオープン毎月決算コース(物件満彩)	1.53%	8.78%	8.54%
14	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67%	6.34%	1.49%
15	みずほUSハイイールドオープンAコース(為替ヘッジあり)	2.16%	5.13%	2.38%
16	DWSユーロ・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型)Aコース(円ヘッジあり)	2.26%	4.15%	3.34%
17	次世代米国代表株ファンド(メジャー・リーダー)	2.21%	16.63%	10.74%
18	東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)	1.53%	2.53%	0.55%
19	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.30%	16.34%	7.43%
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(健次)	3.02%	17.56%	8.81%
残高加重平均		2.08	12.55	6.84

【図15】【図16】【図17】2019年3月末時点で設定5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄

コスト：販売手数料率/5 + 信託報酬率 リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)